

【市長】新幹線開業を控え、20歳から40歳までの人達を委員にして回遊性のある街を目指して委員会を発足させた。この委員会からの提言やこれからの活動に期待したい。



北陸新幹線高架橋起工式

【質問】飯山市観光協会長を昨年4月より市長は降りたが、市として観光を育てていく必要があるのなら、副市長なりの理事者がなるべきと思うが。

【市長】大きな民営化という流れの中で現在の姿があるが、副市長も現在理事として席を置いているので、理事会の検討に委ねたい。

【質問】公共体育施設の観光業者への貸し出しについては、観光振興の立場からもう少し利用し

易くできないか。

【市長】市観光協会が事務をしているため、利用料については一部諸費用を上乘せしている所もあるが、細部については検討させたい。

【質問】中学校の統合に伴い、廃校となる照丘高校を市北部のB校として利用することになっているが、どの程度話が詰まっているのか。

【市長】現校舎は昭和54年に建設されているが、県によると、この秋には耐震診断の結果が判明する。譲渡費用についてはできるだけ安くするよう県にお願いしている。職員室、技術教室が新たに必要になる。また、外様方面からは新しい道路約400メートルを開けて対処したい。

【質問】雪国でしか使わない除雪機の軽油引取税の免税措置はできないか。また、固定資産の内、雪国でなければ必要のない屋根の消雪パイプなどは課税から外してはどうか。

【市長】全国雪寒連の副会長をしているので、同じ内容を先日各党の首脳に陳情してきた所である。現状は積雪寒冷地補正により栄村と共に税率は最優遇になっているが、副会長の立場を利用しながら、新たな枠組みも作るよう働きかけて生きたい。

しつかり連動し商工業も含めて、企業が来ていただけるようになると思う。

住宅屋根無雪化事業の実態調査について

【質問】三月議会での補助事業利用者と業者間でトラブルが起きていることについて質問し、答弁では早急にアンケート調査をし、実態を把握すること。その後、調査はどこまで進んでいるのか、また、寄せられている意見などには、どのようなものがあるのか。

【部長】補助金交付した189件にアンケート調査を実施。現段階で113件(約60%)の回収。この制度への要望について、大変助かったなど、多くの意見があった。

美しい景観保全について



小林洋之議員

【質問】開通した飯山市・木島平村広域農免道路3.4キロ全線を、

米の生産調整について



佐藤正夫議員

【質問】世界中から食料不足が聞える時、MA米を入れながら減反するのは農政の誤りと思うが。

【市長】そのとおりと考える。

【質問】当市は計画と実際では面積の差が大きいとの国の指導で全筆調査をする事になったが、なぜその必要があるのか。

【市長】当市は既に広大な面積が荒廃しているので、調査結果によつては達成率が過剰と言うような良い方向になる事も考えられるので実施する。

【農業委員会会長】本年度の生産調整には行政が積極的に関わる事となった。当市は国の統計と面積のかい離があると指摘された。全筆調査は、水田の基礎面積の把握のためにも必要と考える。

【質問】減反をしないとペナルティと言うが、内容はどのようなものか。

広告物等の沿道禁止区域に。

【部長】広域農免道路は、市道3-1-26号として認定されたことから、全線を広告物設置の禁止区間として位置付けた。

【質問】沿道に林立している桃太郎旗の規制基準を。

【部長】桃太郎旗は、事業者の理解を得ながら、指導要綱に配慮事項を盛り込み、積極的に指導したい。

【質問】新幹線飯山駅周辺を屋外広告物の規制地域に。

【部長】県屋外広告物条例では、新幹線軌道の両側500mは屋外広告物規制地域、両側1000mは許可地域としているため、この適用を要望した。



広域農免道路 (菜の花橋より木島方面)

【質問】景観条例の制定に向けての考えを聞きたい。

【部長】景観法に基づく景観行政団体指定に向けて準備を進め

【農業委員会会長】産地づくり対策の調整や、補助金の採択等について考慮すると言われている。個人にペナルティーは無いが、減反には生産者の協力が不可欠だ。

【質問】米しか作れない地域は別枠にする事と、消費拡大運動を進めるべきと思うが。

【市長】どの地域も同じと言う事では無く、国が区別してゆく方向を望み発言してゆく。

【農業委員会会長】自給率向上のためにも消費拡大運動をさらに進める。



飯山市は県内有数の良質米産地である

新幹線関係について

【質問】新駅の名称を決める時期はいつ頃か。広域の絡みもあるの

【市長】日本中に通用する名称を考えている。信州の北の玄関口であるので広く意見を聞き、当

ている。

飯山らしい学校教育の構想について

【質問】飯山市に有名人材をどう育てるか、これに答える学校教育のあり方を方向付けされたことは画期的なこと、具体的な推進計画は。

【教育長】現在具体的な計画を立てている。年度内に作成し来年度から順次実施に移したい。

【質問】社会教育についても飯山らしい構想を策定しては。また公民館組織のあり方についても合わせて検討してはどうか。

【教育長】飯山らしい社会教育の構想については、策定する方向で考えたい。公民館組織のあり方についても研究をしていきたい。

板橋区天山商店街「とれたて村」アンテナショップについて



渡辺吉晴議員

【質問】とれたて村の今後の利活用の取組はどのように考えている

市が主導権を取って、来年度中には決定したい。

【質問】新駅からの景観は大切だ。駅周辺の建造物は高さ制限を定めるのか。制限しすぎると発展性が無いと思うが。

【市長】建物は既に問い合わせがある。駅からの景観を大切にしながら調和のある発展を指導してゆく。

飯山らしい学校教育の構想について



竹井政志議員

【質問】新たな子ども像や学力観、指導観について、子どもたちをとりまく環境をどうとらえているのか。

【教育長】子どもたちの生活や遊びが野外から屋内へと変化し、知識の量が多いが、知識を活用する力に欠ける。今後、国際化が一層進む中で知識量より思考力やコミュニケーションが必要だと考える。

【質問】地域とともに運営する学

【市長】とれたて村アンテナショップについては、観光・農業の利を生かしながら取組んで行きたい。とれたて村アンテナショップと共に行行政とも話し、学校給食にも飯山市の特産物を進める中で、飯山へきて頂き、飯山の良さを知ってもらう様にも話している。

【質問】天山商店街の中央にあるイベント広場の利活用こそ、都民に飯山市の特産物や観光、飯山の良さを知ってもらう絶好の場所と考えるが。

【市長】天山商店街のイベント広場については、3月には米を、5月にはアスパラ、ソバを持って行き、観光についても商店街の皆さんにも呼び掛け飯山へ来て頂き、飯山の良さを知ってもらうように進めている。



秋津小学校での授業風景

新幹線駅を核とした「まちづくり」会議について

【質問】「回遊性」、「観光」、「農業」、「商工業」をキーワードとして、検討されることであるが、農村地帯も含む「まちづくり」をどのように考えるか。

【市長】市民が誇れる「まちづくり」にしなければならぬ。市民総参加のもとで、一步一步進めていくこそが、農業と観光が



天山商店街でのイベント5月